

神は純粋な心を愛する

グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダ

抜粋8

今朝、ある父親が、息子の体験を語ってくれましたが、その息子は数週間前にここにいました。その 10 代の息子が家に帰って来た時、あまりにも変容していたので、父親はそれを信じるできませんでした。少年はこう言いました。「お父さん、僕はアーシュラムのすべての木の葉の中に神を見たんだ」。彼はとても感動していました。実際この若者が 10 代のためのインテンシヴの後、ダルシャンに来て、こう言ったのを覚えています。「グルマーイ、ここ数年、両親にとっても冷たい態度で接し、2人の愛を理解しなかったことを許してください。本当に許してほしいのです。本当に」

私は彼にある人の所へ行行って話をするようにと言い、その人は、すぐに両親に電話をして自分が感じていることを知らせるよう助言しました。彼はその通りにしました。両親に電話をしてこう言ったのです。「僕はグルマーイの所に行行って、許してくださいとお願いしたんだ」。そしてそれを繰り返し伝えました。

両親は非常に感動しました。夏の終わりにここに来た時、この父親は絶えず息子のことを話さないではいられませんでした。彼は私に会うたびに、何回でもその話をしたものです。「私の息子が、私の息子が。私は息子の目の中に変容の涙を見ました。息子の声は変わりました。息子はすべての木の葉の中に神を見たんです」

私はうなずき続けました。「そうね。そうね」。これは本当に素晴らしいことでした。誰かが変容の体験を話すのを聞くと、あなたは感動するでしょう。毎回十分に聞いたと思うのに、それはあな

たの別の部分に触れるのです。あなたはその人の話し方や自分への影響の及ぼし方に、「ああ、もっと何かあったんだ…」と気づきます。慈悲。慈悲の感覚を分かち合う時、お互いの中に神を見ることができます。



© 2022 SYDA Foundation®. 著作権所有。

グルマール・チッドヴィラーサーナンダ著『神は純粋な心を愛する』第7章「慈悲」(SYDA Foundation 2005)95～96 ページ